

## 横浜都市デザインビジョン 平成 28 年度 広報普及活動報告

### 1 発行物を作成して発刊

#### (1) 都市デザインビジョン増刷・配布

本編：50 部（市民情報室販売用 H28 年度 12 冊販売 累計 17 冊）

概略版：500 部（来庁者・イベント時配布等 計 313 部）

#### (2) DLmarket 配信

冊子購入数：1 ダウンロード数：17（3 月 22 日現在）

都市整備局全体の取組として取扱い範囲拡大。景観調整課、地域まちづくり課、防災まちづくり課、計 40 コンテンツ。

歴史を生かしたまちづくりセミナー実施報告書、ライトアップヨコハマ活動記録等都市デザイン関連コンテンツも取扱い開始・配信中。

### 2 都市デザインに触れる機会づくり

#### 神奈川大学まちづくり行政特論

6 月 4 日 @神奈川大学 受講登録者数 120 名

#### 『こどもアドベンチャー2016 体験！1 日都市デザイナー 横浜のまちを描いてみよう！』

8 月 18 日 @日本大通りおよび市庁舎

参加者数：42 名（うち小中学生 21 名※前年比 2.6 倍）※応募総数約 80 名(同伴者含む)

共催：地域まちづくり課、景観調整課

#### 『横浜市技術職員対象現場見学会』（職員採用試験対象者向け） ※人事委員会主催

2 月 13 日 参加者数 30 名程度 UD 室外職員 6 名動員

#### 『横浜市新採用予定者向け都市デザインワークショップ』

3 月 29 日 参加者数 25 名程度（募集定員 20 名） UD 室外職員 5 名動員

### 3 市民の都市デザイン活動の支援

#### 『OPEN MEETING！都市デザイン 郊外編 Area01:東山田準工業地域 vol.1&2』

昨年秋に当地にてまちづくりを目的に設立された団体一般社団法人横浜もの・まち・ひとづくりの「ミーティング」を、より幅広い参加が可能な場として「オープン」に開き、互いの理解を深め、新たな活動が展開するきっかけになることを目指します。また、デザイン室としては、住工混在の課題を抱える準工業地域における都市デザイン活動・手法の抽出を目指しています。

第1回 11月14日 13:00-18:00 @東山田準工業地域 参加数 30名程度

テーマ：技術がすぐそばにあるまちと暮らし

プログラム：まち歩き・課題共有・ディスカッション・発表

参加者：地域内町工場経営者、行政職員、その他関係者・住民

第2回 3月28日 13:00-18:00 @東山田準工業地域 参加数 30名程度

テーマ：技術がすぐそばにあるまちの学び

プログラム：まち歩き・課題共有・ディスカッション・発表

参加者：地域内町工場経営者、近隣教員、行政職員、その他関係者・住民

企画・進行：岡部友彦／コトラボ合同会社

記録：東海大学富田研究室

主催：横浜市都市整備局企画部都市デザイン室

共催：一般社団法人横浜もの・まち・ひとづくり

### 4 都市デザイン行政の強化（行政職員の育成）

#### 『アーバンデザイナー養成講座 H28 共創編』

テーマ：民間提案を創造的に打ち返す

題材：『ピカチュウ大量発生チュウ！（主催：株式会社ポケモン）』

『「ひつじのショー」を活用したまちの活性化（主催：横浜市を予定）』

内容：現在実際に民間事業者から市に持ち込まれている提案を題材に、どのような意見・提案を行えば、創造的な協議および成果につながるかを検討・検証

開催日：第1回 2月8日 午後6時30分～午後9時

第2回 3月8日 午後6時～午後9時

対象・受講数：職員 29名（募集定員 25名）

第2回聴講のみ職員 15名

主催課：都市整備局都市デザイン室

協力課：政策局共創推進課・文化観光局魅力づくり室

ゲスト：株式会社ポケモン シニアディレクター 鈴木修氏

株式会社東北新社 版權営業部主任 太郎田 沙織氏

プロモーション制作事業部 有吉 夕希氏

# STAFF



OPEN MEETING! 都市デザイン  
郊外編 Area01 東山田準工業地域

## 技術がすぐそばにある まちと暮らし



このドキュメントは東海大学の視覚化チームがリアルタイムに記録したドキュメントです。すべての発言を正確に記録できていない箇所もございます。ご了承ください。



2016.11.14

Visual Recording by 門脇 穂 菅有輝也 富田 誠 /東海大学

### 街を聞こう 街を見よう



## STEP 1

### 街あるきから 東山田の特徴を掴む

工業地帯を歩いて回ります。まちを歩いていく中で、今の東山田はどんな状況なのか、どこかに隠れた魅力はないのかを見つけ出し写真に取ります。





## 写真から見える東山田のポイント进行讨论

金属の型を抜いた廃材が  
アートにも見える。

### 廃材の可能性

価値が高いのにタダでもらえる

日々色々なものがたまるので  
とりあえず置いてあるのでは

### 隙間の可能性

色々なところに廃材がある

一般的なゴミは捨てられるけど  
会社の寮のゴミは企業ゴミ

剪定された植木が多いのでは

### 植物が豊か

地帯の外側に多い

びわや柿など食べられそうな果物も

フェンスで囲ってあって  
中には入れない場所も..!

昔は下が工場で  
上が住むためのマンションも多かった

### いたるところにベランダ

下が工場だと  
構造的にベランダをつけやすい？

ベランダやバルコニーがたくさん  
これを活用できない？

一等地に外階段がある！

### 大きな外階段

外階段が素敵！  
オーバースペックで大きい

道路からよく見える位置にある  
スペースを他に活用できないか

高圧電線が張り巡らされている

### 工場らしい風景

煙突・排気口がたくさん

ドラム缶

## 参加者が撮影した📷 東山田



## 写真から見た東山田の KEYWORD

廃材

寮

ベランダが多い

外階段

植物・果物  
(フェンスで囲まれたエリアも)

タンク

煙突

自販機 (ボス)

看板 キャッチコピー・社訓

匂い

クリーニング

鉄加工

倉庫

ドラム缶

高圧電線

地域内外の接続箇所

ゴミ捨て場の可能性

マンション名・会社名

交差点の停止線

高低差 坂1/20

道路に溢れる線  
(公私境界の曖昧さ)

空がよく見える

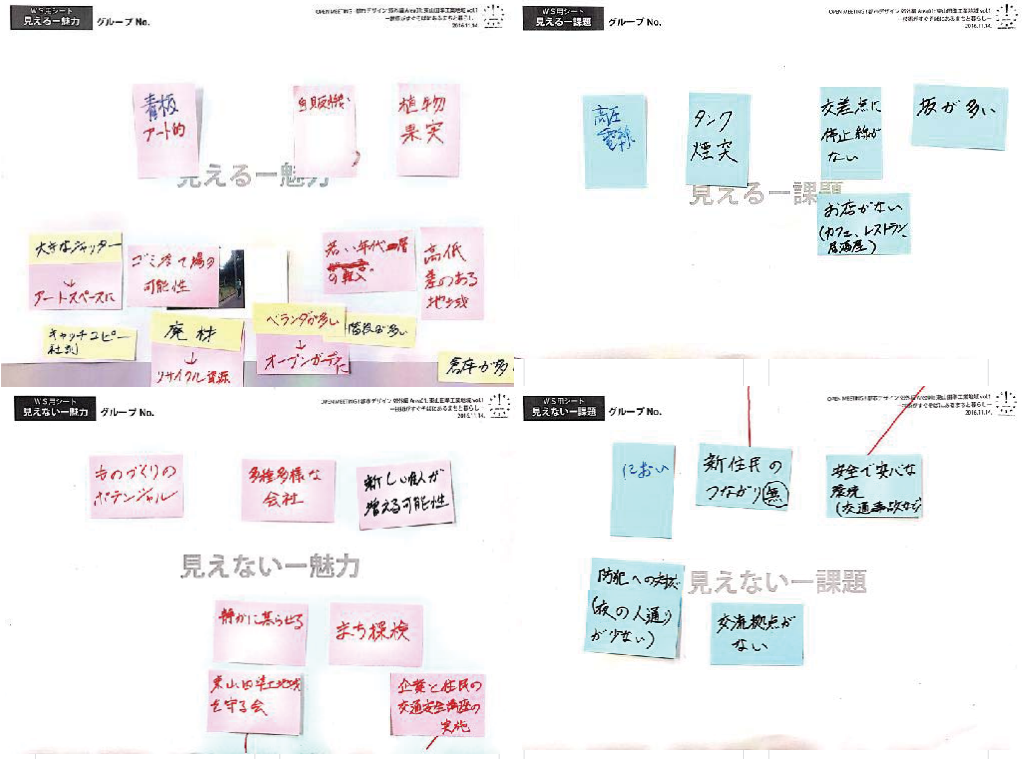
## STEP 2

### 写真から見てきた 東山田のキーワード

撮った写真を公開し、東山田の現状と課題、隠れた魅力はどこにあるのかを整理していきます。







主な話題は、中間にあるものをどうやったらプラスにできるのか。この街は道に面したところにシャッターがある。それが連続している。それをアートスペースにして明るいまちづくりができる？

外階段などをオープンガーデンなどとして、街の中に緑をさらにふやしていけるのでは？

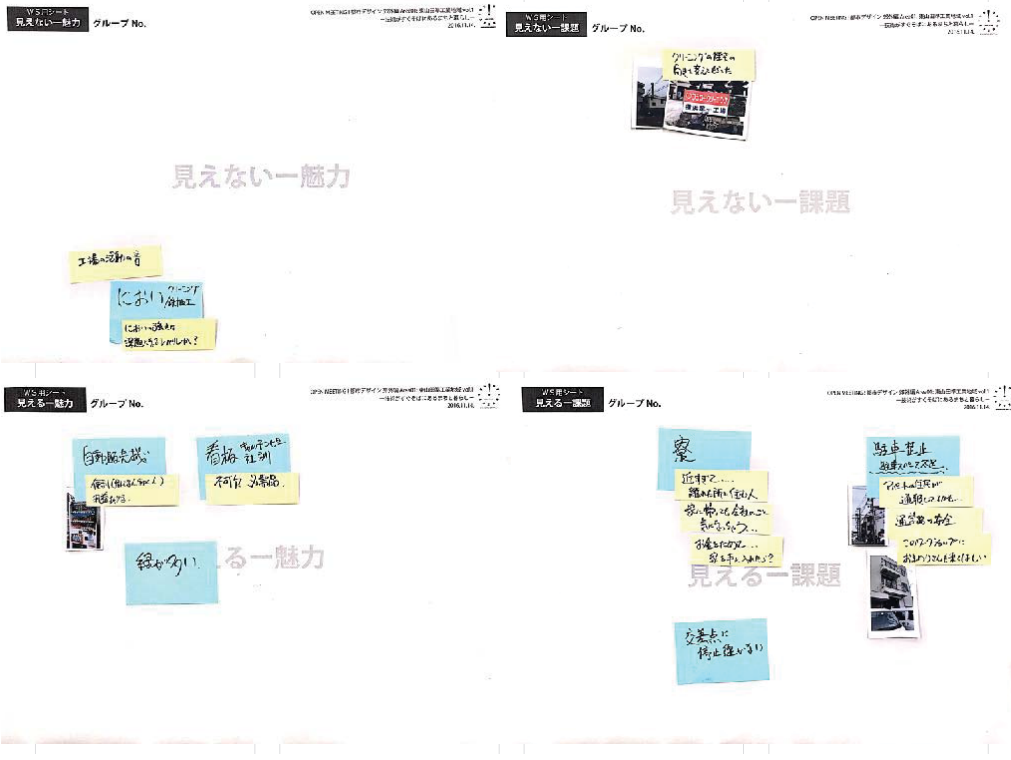
廃材がたくさんある。これらを地域の人に魅せるようにすることで、子供が活用したり、アートにも活用できるのでは？

東山田の巡回地域を守る会、やワークショップなどを通して街の中に停止線がないなどの問題は、子供が増えた時のことを考えて対策が必要では？企業と住民の安全対策講座などのソフト、ハード共に対策が必要では？

赤がポジティブ、青がネガティブ、黄色がどっちとも言えないこと。







あんまり大きく広げずに狭めて考えた。自動販売機に関しては、工場に勤めている人にとっては買いやすい。勤めている人にとって大切なもの。看板は街をPRすることができる。わかりやすくするにはいいかなと思う。まだ看板が邪魔だという意見はないはずだ。

見えない魅力としては、匂いがある。クリーニング、鉄、油の匂いなどがある。住宅の方からクレームはない。ないから良いというわけではない。ゼロではないけど許されるレベル。これから課題になる可能性もある。クリーニング屋の蒸気が住宅の方に向いている問題から、向きを変えて欲しいと依頼があってすぐに対応した。

駐車禁止の問題。勤めている方が、車で来た時に停める場所がない。今の所考えられる対処方法は会社で半分負担して、残りは本人という方法をとっている。通学路でもあるため、車を路上駐車していると問題がある。警察もワークショップに参加して、いい方法を検討してみたいと思う。駐車スペースが不足している。

察があると、金銭的な問題も含めて便利だ。実際には近すぎて、仕事をやっているところと、住んでいるところが近いと、安く住める。でも便利に使われてしまう。察になると土曜日だけ出てくれる？と言われる問題から離れた所に住もうとする人がいる。会社としては安い寮に住んでもらって、お金を貯めてほしいとは思っている。寮はけっこう空いている。最近では少なくなっている。

コンビニなどはないが、自販機で飲み物を買う。現場で働く人にとっては貴重な飲料となっている。看板は、会社の顔。そして金属を加工して看板にするなど、技術を魅せるチャンスにもなる。看板が剥がれていたり、割れている場所もあった。これはマイナスではないだろうか。

廃材も課題になっている。以前、スリーハイさんのオープンファクトリーに参加した。廃材はといえばゴミ、綺麗ではないという悪い面ももちろんある。

信号や交差点がない。なければ無いで、街探検など移動が自由に行ける。移動の利便性にもつながるので無いことを魅力にもできるかもしれない。







東山田で  
「できるかも!」



STEP 4  
街を変える  
様々なアイデア

まちを魅力的にするために日本各地で行われている事例を紹介します。

イタリアのレッジオ市。幼児教育が盛ん。レミダという街では、子供が教育上必要となる廃材をもらっていくことができる。

太田オープンファクトリーという工場を回るイベントをやっている。WSなどを盛んにやっている。

ムンレアートビレッジ。様々なアート活動が可能な場所を提供。

屋上を屋上農園にする。市民農場のようなかたちで共同運営。さらに人が集まるためのカフェも作られた。

飛騨高山の観光地で、飛騨の木材や加工場を公開し、ツアーとしてみせている。さらにカフェや宿泊施設も作っている。

ウォールペイントに関しては、韓国が進んでいる。ソウルやプサンでワークショップ形式で、しかけてアーティストが描いている。こういうことをやっている街は今後の課題をかかえている街。

基金型自動販売機。ジュースを買くと寄付ができる。日々の購買をきっかけに貯蓄する。

スマフィアという墨田区の取り組み。ものづくりのための空き物件ツアーも開催している。

くりらぼ多摩川は、ワークショップスペースを提供しており、町IBARというイベント。ゲストに町工場の人を招いて話してもらっている。

魚の絵が書いていあるゴミ袋。ゴミ置場がファンタジーになる。

住宅の方からもアプローチ。建設中に施主が自分を紹介するボードなどを見せて、移転前から人間関係をつくっていく。

横浜市にあるNDCというおみあげ屋さん。海上保安庁の地図は防水の丈夫なマップは、地図が変わると廃棄しなければいけないので、それを買ってバッグにしている。

東山田で  
「できるかも!」



STEP 5  
東山田で  
「できるかも」を考えよう

まちを魅力的にするために日本各地で行われている事例を紹介します。





東山田で  
「できるかも!」

